

職員の退職・転勤

(平成 23.3.31 離任)

校長	吉田善太郎	退職
教頭	田上則之	市立飾磨高校
体育	樽本直記	退職
理科	勝川光義	退職
理科	佐用顕瑞	退職
数学	嶋村 誠	退職
英語	坂元 宏	県立姫路特別支援学校
英語	高橋秀美	市立姫路高校
社会	杉野智也	県立松陽高校
体育	澤井 敬	県立龍野北高校
美術	内池大介	市立姫路高校
司書	安原美津代	退職

PTA活動

琴丘高等学校PTAでは、学校と家庭、及び会員相互の協調によって各種の活動を通じ、生徒の健全育成に寄与することを目的として活動しています。

[組織]

- 各学年役員 24名(常任8名、学年委員16名)
- 各学年常任委員(8名×3学年) 24名で本部役員
- 会長(1) 副会長(4) 会計(2) 監事(2)
- 書記(2) 各部部長 副部長(7) 学年委員長・副委員長(6)で構成

[活動内容]

- 1学年…研修部(あすなろ教室運営・研修旅行実施)
- 2学年…広報部(PTA会報「琴丘」発行)
- 3学年…総務部(国際交流行事お手伝い)
- その他、学校行事、姫路市主催行事参加

● INFORMATION ●

NEW 琴丘高等学校同窓会のホームページを更新しました。

<http://www.himeji-hyg.ed.jp/index.cfm/26,0,197.html>

●同窓会専用の電話回線を開設しました。

079-292-4980 FAX兼用

設置場所は図書館の東端にある相談室で、学校幹事の安原先生に対応していただいています。今後の活動に向けて、相談・連絡等に活用してください。

●琴丘高校のOBが活躍しています。

応援宜しくお願いします。

サッカーJリーグ

播戸竜二選手(セレッソ大阪)

増川隆洋選手(名古屋グランパス)



進路状況

(現役合格者延べ人数)

国公立大学	10名
私立大学	312名
公立短大	2名
私立短大	38名
専門・各種学校	56名
就職	15名(公務員5名を含む)

顕著な成績の部活

<男子ソフトテニス部>



近畿大会 団体戦 ベスト16

<吹奏楽部>

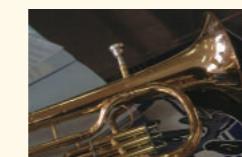
第60回 関西吹奏楽コンクール 銀賞

<美術部>

兵庫県総合文化祭美術工芸部門 近畿大会出場

<書道部>

県総合文化祭高校書道展 特選・入選



募集しています！

琴丘高等学校創立100周年記念事業実行委員会からのお知らせです。

100周年記念事業の一環で記念誌を発行致しますが、記念誌に寄稿してくださる方を募集しております。

詳細については同窓会事務局までお問い合わせください。

TEL・FAX 079-292-4980(学校幹事・安原先生)

● 編集後記 ●

この度、母校琴丘高校の創立100周年記念を2年後に控え、初めて「琴丘しらさぎ会だより」を発刊することになりました。卒業生の皆様に記念事業の概要、同窓会の現状、久し振りに開催した総会の様子、学年の同窓会の開催状況、学校の現状、PTA活動等、最近の様子をお知らせ致しました。各期の幹事の皆様、各学年の同窓会を開いて頂き、募金についてもご協力の程よろしくお願い致します。

記念誌委員会 委員長 三木英一 記

琴丘 しらさぎ会だより

Shirasagikai / Kotogaoka High School Dosokai



■編集・発行
姫路市立琴丘高等学校同窓会 しらさぎ会
〒670-0052
兵庫県姫路市今宿668番地
TEL・FAX 079-292-4980
<http://www.himeji-hyg.ed.jp/index.cfm/26,0,197.html>
E-mail:yasuhara_mitsuyo@himeji-hyg.ed.jp
印刷所: 大和美術印刷株式会社
写真提供: アート写真社

表紙・題字「しらさぎ会」は
第8代校長 八木初男氏の揮毫による。



ご挨拶

琴丘しらさぎ会

会長 八木清重

平成25年に創立100周年を迎えるにあたり、平成22年7月に学校、PTA、しらさぎ会の三者に依り記念事業実行委員会を結成、記念事業素案の協議検討を重ねて策定致しました。

この3月、東日本大震災が勃発し、社会情勢が大きく変化し、現状に至るも不透明な状況が続いておりますが、本部役員会、常任幹事会を開催して記念事業について協議を致しました。厳しい経済状況ではありますが、計画通り事業を進めるに決定致しました。この記念事業を完成させるために、しらさぎ会の皆さんの方強いご支援とご協力をお願い申し上げます。

記念事業にしらさぎ会館（同窓会館）の全面改装を計画しております。会館は昭和48年（1973年）に、旧高

女しらさぎ会が所有していました、母校車崎旧校舎正門西側の庭園を姫路市に売却、その資金で建設致しました。鉄筋コンクリート3階建、1階は生徒食堂、2階はしらさぎ会館大ホール（100人収容）、和室3室等で全室空調設備があり、当時姫路市学校関係では唯一のホールで、教育関係、同窓会会場に利用されてきました。3階は階段式視聴覚教室（300人収容）の設備があり、講演会等に活用されてきました。建築後48年になり老朽化しておりますので内外装とも改装することになりました。

このたび建設されます多目的ホールには収納式観覧席を設置致します。300席の椅子が電動式で短時間でセットされ、収納されます。しらさぎ会の皆さんもぜひご利用ください。



ご挨拶

姫路市立琴丘高等学校

校長 赤松良一



木々の緑の深まる好季、しらさぎ会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと存じます。また、日頃から母校の発展に温かいご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

私はこの4月の異動で姫路高等学校から転勤してまいりました赤松と申します。前任の吉田校長様よろしくお願い申し上げます。

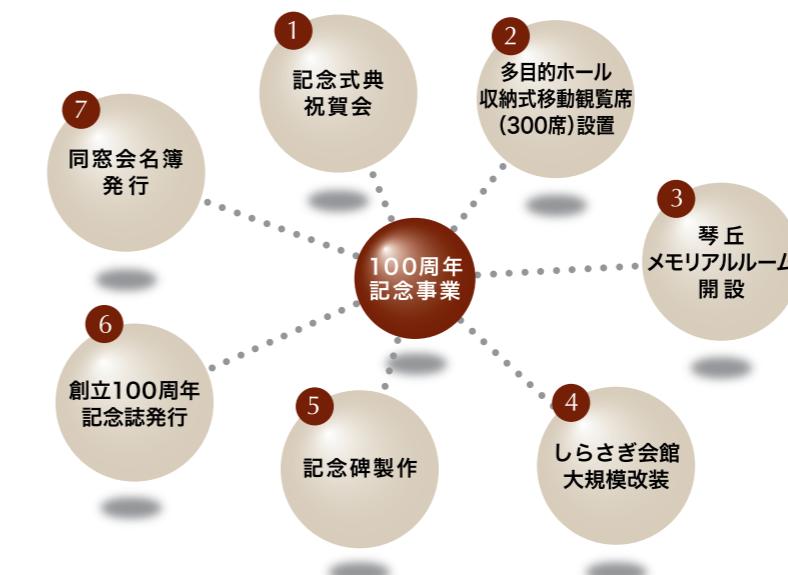
さて、来る平成25年に、本校は創立100周年という歴史的に意義深い年を迎えます。顧みますと、本校は大正2年4月に姫路市立実科女学校として発足以来、姫路市立女子技芸学校、姫路市立高等女学校、姫路市立第一高等女学校等と校種の改編、及び校名の改称を経て、戦後の学制改革によって現在の姫路市立琴丘高等学校になりました。こうした変遷をたどりながらも、先輩諸氏のご活躍により姫路市内で4番目に古い歴史を誇る伝統校として発展し、卒業生もすでに25,000名を超え、各界で活躍されています。

ます。また、昭和61年4月には国際社会の到来を見越して英語科が新設され、平成15年には国際文化科と改称、県下でも有数の特色ある学校として発展を続けています。

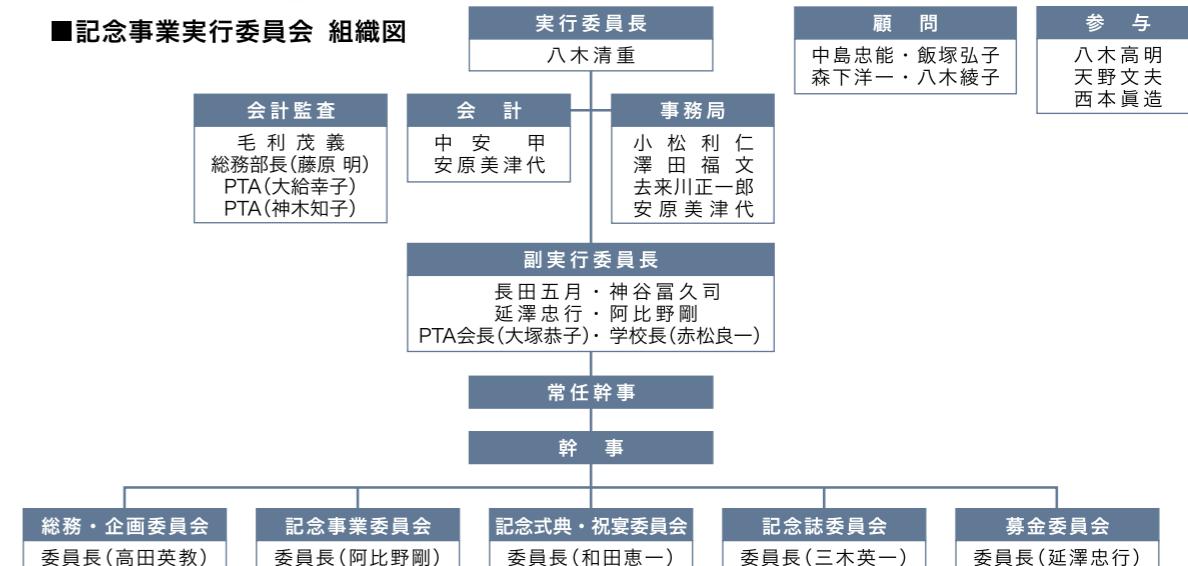
現在は、創立100周年を迎えるにあたり、在校生が「歴史を胸に 翔け未来へ」のスローガンと、校章と握手をモチーフに「校訓の友愛とこれまでの100年をこれから100年に引き継ぐ」という強い意志を表現したシンボルマークを考案して、先輩諸氏の築かれた歴史と伝統をますます飛躍させていくと取り組みを進めています。この生徒諸君の熱い想いを受け、学校といたしましても、輝かしい歴史と伝統を胸に、新たな歩みを進めてまいりたいと考えております。

創立100周年記念事業に向けて、しらさぎ会会員の皆様にはより一層のご支援をお願い申しあげますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念してごあいさつにかえさせていただきます。

創立100周年 記念事業実行委員会 活動報告	
平成22年	1. 23 しらさぎ会・PTA・学校合同会議 実行委員会会則決定
	2. 20 本部会会議
	3. 6 第1回実行委員会会議 スローガン・シンボルマークの決定 実行委員会会則発表
	3. 27 常任幹事選考委員会会議
	5. 10 緊急本部会、実行委員会組織図構成
	5. 15 常任幹事会、実行委員会決定
	5. 22 第2回実行委員会
	6. 25 常任幹事懇親会
	7. 20 第1回総務・企画委員会会議
	7. 31 第1回記念誌委員会
	8. 21 第1回式典祝宴委員会、 一米会（旧職員）
	8. 28 記念事業委員会
	9. 11 第2回記念誌委員会、本部会
	9. 18 本部役員会
平成23年	1. 15 第4回記念誌委員会
	2. 4 本部会
	2. 19 各クラブOB会及び顧問との交流会
	3. 5 第5回記念誌委員会
	3. 30 第3回総務・企画委員会
	4. 23 緊急本部役員会
	5. 7 第6回記念誌委員会
	5. 14 本部会、常任幹事会



しらさぎ会館での本部会、常任幹事会



平成22年度 しらさぎ会総会

とき 平成22年12月5日(日)

10時15分~11時

ところ 琴丘高校しらさぎ会館
大視聴覚教室

- 開会あいさつ(司会)…高田英教 幹事
- 会長あいさつ…八木清重 会長
事業内容 ①在学生の海外研修援助
②中学生のスピーチコンテスト特別賞
③中学生向けオープンスクール
100周年に向けて、学年の同窓会を開催してほしい。
- 学校長あいさつ…吉田善太郎
アジア圏での姉妹提携に力を入れる。
- 議事
 - 事業報告及び今後の活動方針等…八木清重 会長
 - 会計報告…中安 甲 会計
毛利茂義 会計監査
 - 質疑応答
 - その他
- 閉会あいさつ…神谷富久司 副会長



記念講演会 11時10分~12時30分

- 開会あいさつ並びに講師紹介…三木英一 幹事
- 講演

講師 石井雅勇氏(昭和58年卒 第35回生)
代々木ゼミナール講師
(株)代官山インターナショナル代表取締役
姫路観光大使
演題 「私の高校時代とその後」

- 謝辞…三木英一 幹事

[講演要旨]

- 入学時の成績は450人中最下位のグループにいたが、3年間、有難いことに我が師匠とも呼べる高橋正武先生(美術担当、バレーボーイ部顧問、琴丘高4期生)に担任をしてもらった。
- 早稲田大学進学を目指して、自分独自の勉強法により、2年生の時から徹底して勉強に打ち込む。
- 早稲田大学生の時に、角膜炎により順天堂病院に入院、糸井先生のお蔭で失明を免れる。
- 早稲田大学卒業後、得意の英語を活かして、アメリカのボーディング校に就職するが、理系の世界で自分の英語力では駄目なことを実感し、3ヶ月で退職。ニューヨークに住み、外人の中に入つて1年間英語の修行に専念する。
- 帰国後、16年間、代々木ゼミナールの人気講師として活躍する。
- 「医の心を持った医者づくり」を目指して、医学部への進学を希望する学生を集めて医学部特科の予備校を創設。代官山メディカルをはじめ、3つの会社の経営者として、現在は年間数十億円の業績をあげて活躍している。

志を高く持って、努力し続けることの重要性をユーモアを交えて、話術巧みに話された卒業生の活躍に参加者は大きな拍手を送りました。

しらさぎ会同窓会 会計報告

■収入

項目	年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
前年度繰越		5,807,029	7,005,733	9,019,645	10,614,175	12,456,871	前年度繰越
入会金		320,000	307,000	280,000	280,000	280,000	入会金 1人 1,000円 × 人数
会費		2,101,600	2,087,000	1,963,200	1,925,800	1,850,200	会費月額 200円 × 人数
雑入		13,750	91,500	0	1,200	89,700	同窓会名簿・校歌CD売上
預金利息		54	3,757	25,630	15,257	4,255	預金利息
旧通帳解約		0	56,134	0	0	0	通帳解約
100周年事業基金寄付金		0	0	0	0	395,650	寄付金
収入合計		8,242,433	9,551,124	11,288,475	12,836,432	15,076,676	

■支出

項目	年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
需用費		133,350	222,092	144,900	154,822	606,110	学校案内・横断幕購入
奨励費		14,000	92,500	94,500	102,500	87,000	各クラブの全国大会出場援助
慶弔費		29,000	47,775	34,900	22,000	36,000	同窓会祝金・香料
補助金		400,000	99,812	400,000	100,239	81,954	国際交流・スピーチコンテスト補助
維持修繕費		70,350	69,300	0	0	0	しらさぎ会館水道修理他
通信費		0	0	0	0	10,655	NTT使用料
校歌CD制作費		590,000	0	0	0	0	校歌CD制作
賃借費		0	0	0	0	210,000	100周年看板設置
支出の小計		1,236,700	531,479	674,300	379,561	1,031,719	
次年度繰越		7,005,733	9,019,645	10,614,175	12,456,871	14,044,957	次年度繰越(姫路信用金庫西支店)
支出合計		8,242,433	9,551,124	11,288,475	12,836,432	15,076,676	

なお、平成22年3月31日現在においては上記のほかに、100周年記念事業基金として、4,328,001円の定期預金(三井住友銀行姫路支店 3,060,408円及び播州信用金庫船場支店 1,267,593円)を保有していましたが、平成22年7月7日付けで当該定期預金は、100周年記念事業実行委員会の会計(郵貯銀行高岡支店・普通預金)へ振り替えました。

同窓会 Class Reunion

姫路市立琴丘高等学校の卒業生たちの
同窓会をご紹介します。



平成23年4月20日 姫路キヤッスルホテルにて

「100周年に向けて楽しく」

ふみの会
高等女学校23回生
高等学校1回生代表 長田 五月

「喜寿を祝して」

第5期生代表 三木 英一

私達第5期生は、戦後の学制改革による新制中学校を卒業した年に、小学区制により、琴丘高校に入学し、普通科5クラス、商業科2クラスでスタートしました。それだけに、琴丘高校の草創期を築いたという誇りを持ち、よく纏まつた学年で、卒業後57年が経つ現在も仲良くしており、5年毎に同窓会を開催してきました。

最近では、平成22年11月15日に、喜寿祝賀同窓会を姫路キヤッスルホテルで開催し、60名(男性34名、女性26名)が参加しました。恩師も加藤淳二先生、前田昇先生、八木初男先生、大西邦夫先生、北幹夫先生、坂田亘優先生が出席してください、その上、吉田善太郎校長、八木清重同窓会長、安原美津代事務局長も御臨席いたので、和気藹々と昔話に花を咲かせ、元気で喜寿を迎えたことに感謝しました。物故者は、既に約3分の1の100名近くになっています。

母校創立100周年記念の年には、併せて卒業60周年記念同窓会の開催を楽しみにしています。



平成22年11月15日 姫路キヤッスルホテルにて

往年の名女優、オードリー・ヘップバーンの晩年に「平凡な毎日のどんな小さな事でも当たり前と思わず生きる」と云う言葉がありますが、80才になる今日迄、平凡に生きたくても皆それぞの苦労があった事と思う。

毎年同窓会を開き、元気に食事をおいしくいただき、楽しい会話を女学校時代に戻ることは、本当に幸せだと思う。

卒業後1回もかかさず同窓会、喜寿で打ち上げ、もう暫くと傘寿迄、去年、井口さんのお世話で獅子舞に餅つきと、華やかに見事な閉会になりました。100周年記念の座談会と声かけしたら早速に15名、昔懐かしい女学校時代の想い出話に花が咲き、食事座談会とあつと云う間の3時間余。苦労も厳しさも忘れ、今80才になつても、こんなにすぐ集まれる高等女学校23回、高等学校1回生万歳。又お会いしましょう。

「出会い 50 年記念同窓会」

第15回生 幹事 和田 恵一

我々、昭和38年卒の第15回生は昨年11月に、入学（出会い）50年記念として3年振りの同窓会を行なひました。100周年を控えて今回初めて商業科との共催を企画し（結果は成らず）11月20日、商工会議所ホールにて大いに盛り上りました。

当日は、物故者への黙祷から始まり、幹事からしらさぎ会の現状報告、100周年行事の進捗説明、そして乾杯と進み、一足早い記名募金にも全員から（1千円から2万円）協力を得、過去の剩余金を含めた17万余円を募金者名簿

と共に、12月5日のしらさぎ会総会日に本部八木会長に贈呈させていただきました。

次回は式典前の平成25年8月に同様の主旨での再会を約し、二次会、三次会？後、笑（酒酔い）顔で解散しました。…『K君無事に帰宅したかな…』



平成22年11月20日 商工会議所ホールにて



平成22年11月14日 ホテル日航姫路にて

「節目の還暦同窓会」

第21期生 山本 真理

同窓会

「50歳を迎えるに当って」

第32期生 幹事 木村 光志

昭和55年（1980年）卒業生の同窓会が『50歳を迎えるに当って』8年ぶりに1月3日、ザ・ロイヤルクラシック姫路で行なわれました。

当日はお正月三が日にも拘わらず約130名の卒業生と松本先生を初め、大川先生、三木先生、長谷川先生、松浦先生と5名の先生方もお忙しい中、出席していただき盛況に行なわれました。

卒業生は懐かしい学友、恩師との再会を喜ぶと共に会話にも花が咲き、時間があつという間に過ぎていきました。そして最後は全員で校歌斉唱を行ないました。

今回の同窓会が開かれるに当たり、幹事の皆様方には大変な尽力とお世話をいただき、ありがとうございました。

次回は還暦を迎える頃に同窓会が行なえたら良いですね。

「第23期生同窓会開催のお知らせ」

第23期生 代表 阿比野 剛

先日は、藤江良彦君の危機管理担当理事局長の昇格もあり、東北・太平洋沖大震災の被災地現状報告、災害対策、復興支援等のテーマで懇談会を4月30日に開催致しました。参加者は八木清重同窓会長、三木英一氏（5期生代表）を始めとする琴丘高23期生（昭和46年卒）の同級生で計12名でした。また23期生は来年に還暦を迎えるということで100周年記念行事を盛り上げる為にも、同窓会開催を予定しており、現在、世話人、幹事とも準備を進めています。

予定では平成24年8月11日（土）午後3時より姫路キヤッスルホテルにて100～150名規模を考えておりますが、卒業後、学年全体で集まるのは初めてですので、皆さんからご指導、ご助言等をいただければ幸甚に思います。

ソフトテニス部OB会

ソフトテニス部OBは、現在男女合わせて約360名。定例のOB会は毎年3月末にしらさぎ会館で行なっています。本年度は長年に渡つて指導をしていただいた勝川光義先生が3月に定年退職を迎えられたので、先生ご夫妻に感謝の気持ちを込めて、還暦のお祝い会という形で姫路キヤッスルホテルにて行ないました。参加者は150名。代表学年からのエピソード。新任の先生から現在の先生までを各学年の生徒と共にスライド上映。余興では、赤いちゃんちゃんこを着た勝川先生が若さ溢れるAKBの踊りを卒業生と共に披露。思い出話しあつという間の3時間でした。昭和40年代から現在までの卒業生男女がこのように集まることは本当に素晴らしいことだと思います。これからもますます琴丘高校ソフトテニス部の活躍を期待し、応援していきたいです。

第35期生 山根 貴子



活動報告

私たちD.O!琴丘は、琴丘の卒業生だけで結成されているクラブチームです。高校生の頃は、それぞれベスト4やベスト8という成績で、あと一歩のところで果たせなかつた全国大会出場でしたが、恩師の津田俊二先生が定年退職されてから監督としてチームを見てもらえるようになつたことで、その夢を叶えることが出来ました。たくさんの方に応援していただいているお陰で、今年で5年連続の全国大会出場となりました。自分たちが活躍し続けることが、津田先生への恩返しになると同時に、琴丘の名前を全国に残せることに繋がるのだと思い、毎週琴丘の体育館で高校生と一緒に汗を流し、練習を頑張っています。これからも後輩達にバスケットを通して、琴丘としての誇り、津田先生から学んだことを伝え、現役・OG共に応援してもらえるチームであり続けられるよう、感謝の気持ちを忘れずに高校生と切磋琢磨し、努力していきたいと思います。

D.O!琴丘キャプテン 三輪 容子



拍手の鳴り響く中、我等が恩師、井上真美先生が会場に姿を見せられた瞬間、参加したメンバーは皆、やんちゃんな高校時代にタイムトリップした。定年までの勤めを終えられた先生を労う会には50才代～現役部員まで約100人が集まつた。卒業以来、会えなかった仲間やOBチーム、メンバー、年代が離れていて初対面の先輩方、様々だったが、同じ琴丘の体育館で青春時代バスケットで汗を流したという同類項だけで、そこには、すばらしく温かい空気が流れ、懐かしい気持ちが溢れていた。真美先生のそれぞれの時代の戦績や思い出話に参加者全員が、心から笑い、時に涙し、ひとときを過ごした。

これから懐かしい母校の体育館を訪れても、真美先生の姿がないのは寂しいが、会が終わつて後日、「昔話に花が咲き、ただただ感謝感激の極みです。」とのお手紙を先生から頂き、同窓とバスケットというスポーツのパワーと絆を改めて感じた。

第41期生 佐々木 賢司

男子バスケットボール部OB会

東日本大震災 ボランティア活動

“百聞は一見にしかず、百見は一行にしかず！”

被災地に手縫い雑巾を届け、津波で被害にあつた家屋の泥出し作業に参加しました。場所は宮城県石巻市。テレビの映像では、ヘドロなどの異臭は伝わって来ない。実際に行って分かった事は、復旧に差があること。道ばたに広がるゴミの山、倒れたブロック塀。一度被災地に足を踏み入れて欲しいと思います。被災者からも「冷やかしでも構わない。とにかくここに来て欲しい」との話もありました。

朝日さわやかクリッキング・教室代表 渡部美智余（平成2年卒業・42回生）



第36回 全日本クラブバスケットボール選手権大会 福島大会 ☆ベスト8☆



平成23年5月8日、神戸新聞西播版でも記事が掲載されました。